



2019年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月9日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
 コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 永嶋 秀和
 (氏名) 岡田 一男
 TEL 03-3345-6111

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年7月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	13,819	7.2	701		1,460		1,252	
2018年6月期第3四半期	12,888	11.0	465		1,010		692	

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 1,295百万円 (%) 2018年6月期第3四半期 679百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	92.62	
2018年6月期第3四半期	51.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第3四半期	56,960	7,687	13.4	563.70
2018年6月期	45,881	9,320	20.2	684.51

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 7,620百万円 2018年6月期 9,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		25.00	25.00
2019年6月期		0.00			
2019年6月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,863	23.5	4,216	1.4	3,396	4.1	2,256	12.5	166.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期3Q	13,518,600 株	2018年6月期	13,517,400 株
期末自己株式数	2019年6月期3Q	76 株	2018年6月期	76 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期3Q	13,517,858 株	2018年6月期3Q	13,475,849 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。業績の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、[添付資料]3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さが残るものの、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されております。

当社グループが手がけるホテル業界におきましては、昨年相次いだ自然災害により減少していた訪日外国人観光客数・消費額は落込み前を上回るまで回復し、2019年に入り延べ宿泊者数は高水準で推移しております。今後も国内の観光客の受入れ態勢の整備進展などから訪日外国人の拡大は続くと思われております。また日本人の旅行等に対するサービス消費も増加基調で推移しており、横ばいが続いていた日本人の延べ宿泊者数も上昇傾向となりました。

このような状況下、当社グループでは、2018年10月に運営を開始しました京都ホテル『ENSO ANGO(エンソウ アngo)』の付帯施設として、文化価値の高い昭和初期の京町家にて、京都の伝統文化を体感いただけるサロン「町家サロン」の営業を開始いたしました。また、当第3四半期連結会計期間におきまして、京都市内のホテル用地2物件を取得いたしました。

不動産業界におきましては、首都圏の新築分譲マンション価格は2ヶ月連続で上昇しました。下降傾向にあった初月契約率平均も上昇傾向に転じ2019年3月は好不調の目安となる70%を超えました。供給動向では、首都圏のコンパクトマンション(専有面積30㎡以上50㎡未満)が4年連続で発売戸数・シェア共に増加しており、その約80%が都区部での供給となりました。また、上昇傾向にあった分譲戸建価格は上昇前の水準に戻りましたが、契約率は下降傾向にあります。

一都三県の投資用不動産市場は、継続する価格上昇に伴い、利回りは低下傾向となっておりますが、一極集中傾向が進んでいる都心では、RC造収益不動産、区分所有マンションは旺盛な状況が続いております。

当社グループでは、引き続き都心を中心とした実需コンパクトマンション、投資用マンション、収益物件の用地仕入れに取組みました。また、投資不動産及び仲介等の販売事業成長を促進の一環として、投資用不動産メディア「みんかぶ不動産」開設に参画し、不動産投資に関するサービスの提供・提案への取組みを開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高13,819百万円(前年同期比7.2%増)、営業損失701百万円(前年同期は465百万円の損失)、経常損失1,460百万円(前年同期は1,010百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失1,252百万円(前年同期は692百万円の損失)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ王子」、「森下ワンルームマンション」や収益物件の引渡等により、合計65戸の引渡を行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高7,256百万円(前年同期比58.8%増)、営業利益1,213百万円(前年同期比291.7%増)となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、当第3四半期連結累計期間における引渡実績はありません。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高306百万円(前年同期比39.9%減)、営業損失1,305百万円(前年同期は261百万円の損失)となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「板橋区東新町2期プロジェクト」、「川口市芝中田2期プロジェクト」、「世田谷区下馬2期プロジェクト」等、分譲94戸、請負工事8戸、計102戸の引渡を行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高5,673百万円(前年同期比21.1%減)、営業利益は5百万円(前年同期比97.7%減)となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理、仲介を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部29物件53戸、東京都下4物件6戸、神奈川県2物件9戸、埼玉県2物件3戸、千葉県1物件2戸、合計38物件73戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高132百万円(前年同期比62.1%減)、営業損失193百万円(前年同期は87百万円の損失)となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、2019年3月31日現在のマンション管理戸数が3,396戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高336百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益44百万円(前年同期比7.5%減)となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業、ゴルフ練習場運営等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高133百万円(前年同期比50.4%増)、営業利益63百万円(前年同期比78.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ11,079百万円増加し56,960百万円となりました。負債は、前連結会計年度末から12,712百万円増加し49,273百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末から1,632百万円減少し7,687百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、販売用不動産が2,597百万円減少、仕掛販売用不動産が13,861百万円増加したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が13,465百万円増加、前受金が641百万円増加、また未払法人税等が902百万円減少したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が1,589百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の連結業績予想につきましては、2018年8月7日に公表いたしました業績予想に変更はございません。当連結会計年度におきましては、第4四半期に全体の約7割の引渡が集中するため、契約進捗のお知らせをいたします。

当第3四半期連結累計期間末の物件販売における契約進捗については、以下のとおりとなります。

なお、ホテル運営・管理・その他の収入を除いた物件販売に係る売上高を基にしております。

物件販売に係る売上高 (通年予算)	契約進捗高	契約進捗率
45,478百万円	24,988百万円	54.9%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,970,044	9,120,155
売掛金	20,893	61,621
完成工事未収入金	—	70,068
販売用不動産	7,600,604	5,003,602
仕掛販売用不動産	22,221,216	36,082,671
前払費用	571,742	734,931
その他	719,961	1,226,985
流動資産合計	42,104,463	52,300,036
固定資産		
有形固定資産	1,735,221	2,161,282
無形固定資産	7,703	4,389
投資その他の資産		
投資有価証券	610,057	576,146
破産更生債権等	218,929	218,769
長期貸付金	369,137	377,639
繰延税金資産	141,897	599,630
その他	927,712	960,627
貸倒引当金	△233,929	△237,557
投資その他の資産合計	2,033,803	2,495,256
固定資産合計	3,776,729	4,660,928
資産合計	45,881,193	56,960,965
負債の部		
流動負債		
買掛金	619,205	416,890
短期借入金	8,059,977	8,846,169
1年内返済予定の長期借入金	8,026,295	15,705,707
1年内償還予定の社債	1,290,800	1,538,000
未払金	286,583	159,083
未払法人税等	1,111,905	209,805
未払消費税等	62,160	63,911
前受金	591,838	1,233,665
賞与引当金	13,079	54,166
その他	364,179	202,426
流動負債合計	20,426,024	28,429,825
固定負債		
社債	267,000	459,000
長期借入金	15,247,823	19,815,440
繰延税金負債	413,319	396,383
その他	207,009	172,882
固定負債合計	16,135,153	20,843,706
負債合計	36,561,178	49,273,532

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	404,444	404,731
資本剰余金	1,350,673	1,350,960
利益剰余金	7,413,524	5,823,574
自己株式	△33	△33
株主資本合計	9,168,608	7,579,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,118	38,011
為替換算調整勘定	4,073	3,172
その他の包括利益累計額合計	84,191	41,184
新株予約権	67,214	67,015
純資産合計	9,320,014	7,687,433
負債純資産合計	45,881,193	56,960,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
売上高	12,888,788	13,819,183
売上原価	10,756,937	11,200,764
売上総利益	2,131,850	2,618,418
販売費及び一般管理費	2,596,909	3,319,559
営業損失(△)	△465,059	△701,140
営業外収益		
受取利息	7,795	10,902
受取手数料	6,767	4,728
解約精算金	2,950	1,200
受取地代家賃	7,411	22,014
その他	14,439	12,768
営業外収益合計	39,363	51,613
営業外費用		
支払利息	300,554	422,234
支払手数料	201,025	212,977
為替差損	10,892	2,401
持分法による投資損失	23,939	124,665
その他	48,462	48,216
営業外費用合計	584,874	810,495
経常損失(△)	△1,010,570	△1,460,022
特別利益		
関係会社清算益	16,845	—
特別利益合計	16,845	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	16,597
特別損失合計	—	16,597
税金等調整前四半期純損失(△)	△993,725	△1,476,619
法人税、住民税及び事業税	59,659	231,412
法人税等調整額	△360,766	△456,015
法人税等合計	△301,107	△224,603
四半期純損失(△)	△692,618	△1,252,016
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△692,618	△1,252,016

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純損失(△)	△692,618	△1,252,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,429	△42,106
為替換算調整勘定	△12,508	△900
その他の包括利益合計	12,920	△43,007
四半期包括利益	△679,697	△1,295,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△679,697	△1,295,024

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	マンション 事業	ホテル事業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	4,569,775	509,571	7,192,904	208,951	318,893	12,800,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	139,522	—	139,522
計	4,569,775	509,571	7,192,904	348,474	318,893	12,939,620
セグメント利益又は損失 (△)	309,932	△261,946	244,427	△87,022	47,789	253,180

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	88,689	12,888,788	—	12,888,788
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	139,522	△139,522	—
計	88,689	13,028,310	△139,522	12,888,788
セグメント利益又は損失 (△)	35,495	288,675	△753,735	△465,059

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△753,735千円は、未実現利益の調整額等△812千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△752,922千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	マンション 事業	ホテル事業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	7,256,557	306,425	5,673,007	113,003	336,811	13,685,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	19,198	—	19,198
計	7,256,557	306,425	5,673,007	132,202	336,811	13,705,003
セグメント利益又は損失 (△)	1,213,867	△1,305,586	5,591	△193,108	44,203	△235,032

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	133,377	13,819,183	—	13,819,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	19,198	△19,198	—
計	133,377	13,838,381	△19,198	13,819,183
セグメント利益又は損失 (△)	63,392	△171,640	△529,500	△701,140

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△529,500千円は、未実現利益の調整額等△6,925千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△522,574千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。